

遺伝子組み換え作物がどこで栽培されているか知っていますか？

1996 年以来、30 か国以上で遺伝子組み換え作物が栽培されています。2019 年に遺伝子組み換え作物が栽培された場所をご覧ください。



1,700万人

の資源に乏しい小規模農家とその家族の合計6,500万人を超える人々が、2019年に遺伝子組み換え作物の恩恵を受けました

アメリカ合衆国

世界最大の遺伝子組み換え作物生産国であり、世界の遺伝子組み換え作物面積の37.6%を作付しています

カナダでの遺伝子組み換えセイヨウナタネの採用率は

95%

に達しています

スペイン

ヨーロッパで遺伝子組み換えトウモロコシを栽培する主要国です

600万人

以上のインドの農家が2019年に1190万ヘクタールの害虫抵抗性ワタを栽培しました

メキシコ

コスタリカ

コロンビア

ホンジュラス

ブラジル

ボリビア

チリ

アルゼンチン

ウルグアイ

パラグアイ

ナイジェリア

南アフリカ

エスワティニ

バキスタン

スーダン

エチオピア

マラウイ

インド

ミャンマー

バングラデシュ

中国

ベトナム

フィリピン

インドネシア

オーストラリア

10か国

の南米の国々で2019年に遺伝子組み換え作物が栽培されました

27億ヘクタール

1996年以来栽培されている遺伝子組み換え作物の面積



ダイズ	アルファルファ	ナス
トウモロコシ	パパイヤ	サトウキビ
ワタ	スカッシュ	パイナップル
セイヨウナタネ	ジャガイモ	ペニバナ
テンサイ	リンゴ	

マラウイ、エチオピアおよびナイジェリア

2019年に初めて害虫抵抗性ワタを植えました

遺伝子組み換え作物について詳しくは次のサイトをご覧ください。

www.isaaa.org

